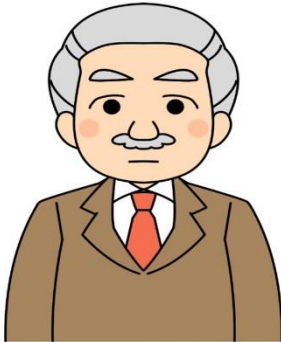


コミュニケーション はしたほうが お得!?

心理学マンガ教材

心理学紙芝居

中小企業



A部長



こちらは、Aさんです。

Aさんは、とある中小企業で部長職として、毎日を一生懸命がんばっていました。

実は、このAさんには、ある悩みがあったのです。

『うーん、最近、なんだか、社員同士のコミュニケーションが増えてきたみたいで、社内がにぎやかになってきたのは良いのだけれど、逆に、困ることもあったんだよなあ。

先日、新入社員の若者たちが、とても仲良しなのは良いんだけど、お店に、お客さんが入ってきてもおしゃべりし続けていたんだよなあ。それで、お客様に「いらっしやいませ」っていうのが、だいぶ遅れたのをたまたま目撃しただんだよなあ。

しかもさ、そのあとも、またおしゃべりが始まってさ、店員がおしゃべりし続けているもんだから、お客さんが逆に気を使って、お会計しづらかったと思うんだよね』

『仲が良すぎて、いろいろ、社内のルールをナアナアにして、ルール違反を注意しなくなっちゃうのは、良くないことだと思うんだよなあ。難しいなあ。

やっぱり、あんまり、社員さん同士のコミュニケーションが増えて、仲良くなりすぎるのも、良くないのかなあ。でも、ギスギスしたり、ピリピリしたりするような会社にはしたくないとも思うんだよなあ。いったい、どうしたら良いのだろうか?』



『そうだ、先日、我が社の、人財育成の社員研修を担当してくれた研修講師の先生に、聞いてみよう』

『どうも、A部長、いつもお世話になっております。今日は、どうされましたか？』

研修講師



Bさん

『どうも、Bさん、いつもお世話になっております。はい、今日は相談したいことがあります。というのも、うちの会社、最近、社員同士のコミュニケーションが増えてきて、にぎやかになってきたので、これはこれで良いことだと思ったんですけど、今度は、逆に仲が良すぎるのか、なあなあになってきていることが増えたようで、ルール違反とかをお互いに注意できなくなったりしてしまうこともあります。』

結局、どちらもどっちで難しいと思っています。やっぱり、職場って、社員さん同士がなあなあになってしまいくらいなら、コミュニケーションが多い明るい雰囲気よりも、ピリピリしている雰囲気のほうが、良いのですかね？』

研修講師



Bさん

『うーん、なるほど、それはまた悩ましい問題ですね。こればかりは、職場によって、会社によって、様々なケースがあるので、なんとも断言はできないのですが、こういったご相談があった際に、よくお伝えしている心理学の実験や研究結果があるので、今日は、それをお伝えしても良いですか？』

『はい、ぜひ、お願いします』

職業的に非常に成功 引退時期 1000人超の男女 インタビュー モチベーションは？

金銭的報酬や 社会的地位より

『仕事上の友人との絆』



金融サービス会社 60支店 350人 チームの業績の良さ ⇒お互いを どう思っているか？

『では、まず、一つ目の実験・研究データをお伝えしますね。

職業的に非常に成功していて、引退の時期に近づいている1000人を超える男女にインタビューした調査があるそうです。

そこで、仕事をする上で何が一番のモチベーションになったかを尋ねたそうです』

『すると、その結果は、なんと、金銭的報酬や社会的な地位よりも、仕事上の友人との絆という答えが圧倒的に多かったそうです』

『なるほど、そうなのですね。成功した先人の方々が、仕事上の友人との絆がモチベーションになっていたと考えると、やっぱり、職場の仲間との関係性とか、コミュニケーションをとることって、大事だなあと思いました』

『はい、わたしも、これを聞いて、やはりそう思いました』

『そして、二つ目の実験・研究データをお伝えしますね。

ある金融サービス会社の60支店で働く350人を対象として行われた研究では、チームの業績の良さは、メンバーがお互いをどう思っているかということに影響されるという結果が出たそうです。

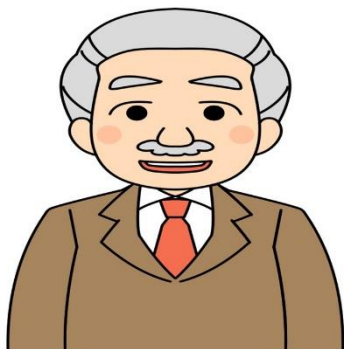
メンバー同士の仕事以外のつきあいを奨励したり、直接顔を合わせる機会を増やしたりすると、帰属感が増し、活力が高まり、長時間仕事に集中できるようになるという結果が出たそうです』



**ギャラップ社
500万人
職場で気心知れた友達
3人以上いる人
といない人**

⇒人生の満足度2倍

**職場に最高の友達がいる
⇒モチベーション8倍**



『なるほど、そういった結果が出たのですね。そうすると、やはりますます、社員さん同士のコミュニケーションが良くなることは、みんなにとって良い事だと思えますね』

『はい、そうですよね。さらに、もう一つ、アメリカの調査会社であるギャラップ社が500万人を対象にした調査によると、職場で気心知れた友達が3人以上いる人と、いない人とは』

『人生の満足度に2倍の差があったそうです。さらに、職場に最高の友達がいると思う人は、仕事のモチベーションが8倍になっていたそうです』

『なんと、そうなのですか、たしかに、やっぱり、社員さんには、仕事のまえに、まず一人ひとりがそれぞれの人生の満足度が高くなるようになってほしいと思いますし、そのうえで、モチベーションが高まって、会社にも良い影響を及ぼしてもらえたら、みんなが得する状態になりますよね』

研修講師



Bさん

『はい、そうですね。他方で、さきほど言われたように、決まり事を、ナアナアにしてしまうのは良くないので、そこはきっちりと決まり事・ルールは守るべきで、それぞれ、別々に、色々対策を考えても良いのかもしれないね。』

残念ながら、すべての職場に一律に活用できる完璧な方法などは、誰にもわかりませんので、職場ごとに、試行錯誤しつつけていく必要があるのかなと思っています』



『なるほど、そうですね。やっぱり、コミュニケーションはしたほうが、一人ひとり、個人にとっても、また組織にとってもお得だと思いました。ありがとうございます。がんばります』

<参考>

「コミュニケーションは大切にしたい・・・」

「決まり事がナアナアになってしまう・・・」

「どう対処すべきか悩ましい・・・」

人財育成の場面でよくあるお悩みについて、どのように支援していくかはケースバイケースのため、誰にも正解のわからないことであり、悩ましい問題であると思います。

そのような場面で、一つの考え方として、心理学の実験をご紹介して、参考にさせていただくというアイデアもあると思います。

(この物語は制作時点の情報に基づいているため、最新情報の確認を推奨します。)